

第 2 回次世代を担う有機化学シンポジウム

開催報告	<p>第 2 回となる本シンポジウムは 2 日間にわたり開催され、活発な討論が繰り広げられた。参加者数は昨年度と同程度の 257 名であり、本シンポジウムが定着したことを示している。参加者の内訳は、大学職員 33%、学生 45%、会社関係 20%、研究所・その他が 2% であり、学生が多いことが特徴となっている。演題数は昨年 41 演題から 26 演題に減少したものの、昨年は過密であったことから、本年度は適正な演題数に戻ったものと考えられる。今回の演題は、天然物の全合成と合成反応の開発研究にやや偏った感がある。今後、メディシナルケミストリーやプロセス化学、構造化学、計算化学等の幅広い分野からの演題の増加に期待したい。ディスカッション重視の立場から質疑応答の時間を長くとってあることが本シンポジウムの特徴の一つである。今回は、7 分間の質疑応答時間にも収まらない熱のこもった議論が続出した。</p>
討論主題	有機化学全般（天然物化学、医薬品化学、生物有機化学、有機物理化学等も含む）
日 時	平成 16 年 6 月 25 日（金）、26 日（土）
会 場	日本薬学会会長井記念館 長井記念ホール（東京都渋谷区）
演題数	口頭発表 26 件
参加者数	一般会員 108 名、学生会員 62 名、非会員 87 名 計 257 名
実行委員	<p>田村 修（金沢大学） 実行委員長 岩淵 好治（東北大学） 眞鍋 史乃（理化学研究所） 宮部 豪人（京都大学）</p>
世話人 （平成 16 年当時の所属）	<p>飯田 剛彦（万有製薬） 井宗 康悦（塩野義製薬株式会社） 内山 真伸（東京大学） 生頼 一彦（日産化学工業株式会社） 大嶋 孝志（東京大学） 大野 浩章（大阪大学） 加藤 恵介（東邦大学） 亀位 勝秀（第一サントリー生物医学研究所） 菊池 和也（東京大学） 北垣 伸治（金沢大学） 近藤 和弘（名古屋市立大学） 佐治木 弘尚（岐阜薬科大学） 佐藤 美洋（北海道大学） 新藤 充（徳島大学） 杉原 多公道（新潟薬科大学） 砂塚 敏明（北里大学） 高須 清誠（東北大学） 高橋 秀依（帝京大学） 椿 一典（京都大学） 松谷 裕二（富山大学） 宮岡 宏明（東京薬科大学） 好光 健彦（明治薬科大学）</p>